Tracers グローバル2倍株（地球コンプリート）

マンスリーレポート
データは2026年9月30日現在

Tracers（トレイサーズ）とは、「こんなの欲しかった」をデザインし、ルール通りに運用（トレース）するファンドシリーズです

ファンドの特色

1 **世界の株式に投資を行ない、収益の獲得をめざします。**
2 **株価指数先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行ないます。**
3 **購入時手数料はかかりません。**

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

当ファンドのルール

当ファンドでは、純資産総額の2倍相当額を世界各国の株式に分散して投資を行ないます。
各国への投資比率は株式市場の市場規模を考慮して決定します。



※実際の運用は、純資産総額合計の200%程度となるように行なうため、常に200%となるものではありません。
※上記はイメージ図です。

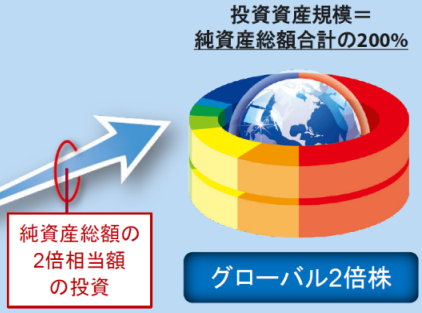
純資産総額の2倍相当額の投資　投資対象資産と実質的な運用について

■ 当ファンドは、主として日本を含む世界各国（新興国を含む）の株式に実質的に投資を行ないます。株価指数先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の2倍相当額の投資を行ないます。

当ファンドの運用方法



※本資料では、純資産総額の範囲内で世界各国の株式に分散して投資を行なう運用手法を「グローバル1倍株」、純資産総額の2倍相当額で同投資を行なう手法を「グローバル2倍株」といいます。



投資対象国・地域
および投資比率は、
株式市場の市場規模
などを考慮して決定

世界各国の株式に分散して投資

※当ファンドの国・地域別資産構成比および組入上位銘柄については、P5にて、ご確認いただけます。

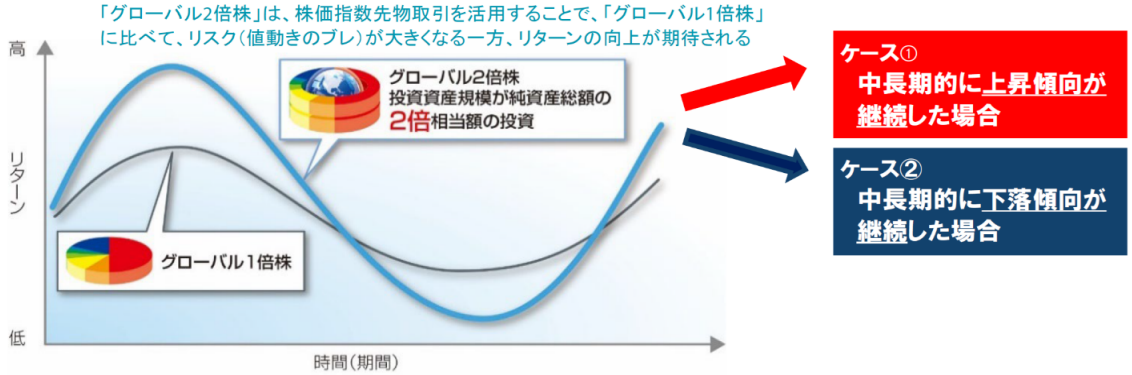
※株式への投資には、株価指数先物取引やETFを活用するほか、現物株式に投資する場合もあります。先進各国の株価指数先物取引においては、買建額に対する為替変動の影響がないものを中心に投資対象とするため、為替変動の影響を受けるのは、主に評価損益分と外貨建証拠金となりますが、先進国株式部分は対円での為替ヘッジを行なうなど*して、為替変動の影響を低減させます。したがって、実質的に為替変動の影響を受けるのは、主に新興国株式部分（米ドル建ての株価指数先物取引など）となるように運用します。
＊ 米ドル建て資産の部分（ETFや証拠金）と、新興国の株価指数先物取引における実質的な米ドル売り（新興国通貨買い）の部分が相殺されることによって、実質的に米ドルについての為替ヘッジを行なった場合と同等の効果が期待されます。
※1カ国への投資割合（建玉時価評価額を含む各資産の合計）は、純資産総額比で100%程度を上限とします。
※実際の運用は、純資産総額合計の200%程度となるように行なうため、常に200%となるものではありません。

※上記の「当ファンドの運用方法」は資料作成時現在のものであり、今後変更される可能性があります。また、上記の各円グラフはイメージ図です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

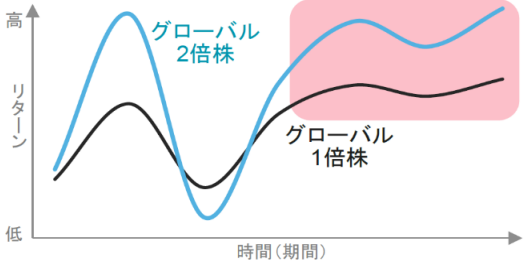
純資産総額の2倍相当額の投資　当ファンドの値動きのイメージ

■ 当ファンドは、世界各国の株式への投資において、株価指数先物取引を積極的に活用することで、純資産総額の2倍相当額の投資を行ないます。そのため、「グローバル1倍株」の運用手法に比べて、日々の基準価額の変動が大きくなります。



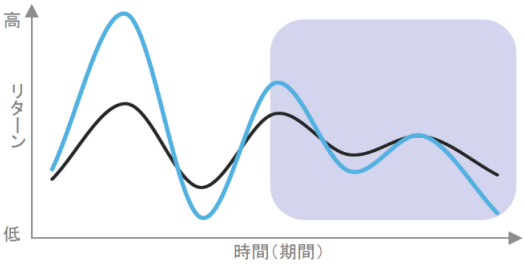
ケース①　中長期的に上昇傾向が継続した場合

- 「グローバル2倍株」は、「グローバル1倍株」と比較して、より大きなリターンの獲得が期待されることから、中長期の保有によって、効果的な資産形成が可能になると期待されます。



ケース②　中長期的に下落傾向が継続した場合

- 「グローバル2倍株」は、下落傾向が継続した場合のほか、横ばい傾向が継続した場合も、「グローバル1倍株」と比較して、損失が大きくなる可能性があります。



※市況動向および設定・解約による資金動向、収益分配の影響などから、日々の値動きが、「グローバル1倍株」の2倍になるとは限りません。
※中長期でみると、複利の効果により、「グローバル1倍株」のパフォーマンスとのかい離がプラスにもマイナスにも大きくなる傾向があります。そのため、累積パフォーマンスが2倍になる訳ではありません。
※上記は当ファンドの値動きについてのご理解を深めていただくためのイメージであり、実際の運用成果などを保証するものではありません。

ご参考：世界株式の推移

■ 世界株式は、ITバブル崩壊やリーマン・ショックなどの影響により、大きく下落する場面もありましたが、中長期的には、大きな上昇を遂げてきました。



様々な困難を乗り越え、
世界株式は、中長期的に大きく上昇してきました

当ファンドの中長期保有により
リターンの獲得が期待される

※世界株式：MSCI ACワールド指数（配当込、米ドルベース、月次）、なお当該指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
※指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、指数の算出元または公表元に帰属します。
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

世界各国の株式に分散して投資　当ファンドの主要投資対象国・地域

- 当ファンドは、市場規模や流動性、取引規制などの投資環境を考慮して、アモーヴァ・アセットマネジメントが投資可能と判断した世界各国の株式へ分散して投資を行ないます。
- 各国への投資比率は株式市場の市場規模を考慮して決定します。ただし、1ヵ国への投資割合（建玉時価評価額を含む各資産の合計）は、純資産総額比で100%程度を上限とします。

当ファンドの主な投資対象国・地域
（2026年5月末現在）



投資環境の変化にあわせて、
投資対象国・地域は変わります

当ファンドの中長期保有により
分散効果が期待される

※投資対象国・地域は随時見直しを行ないます。また、記載の国・地域と実際の投資対象国・地域は異なる場合があります。
※投資環境の変化によって、投資対象国・地域が減少する可能性もあります。
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

世界の株式市場の大半を網羅*する「地球コンプリート」

* 市場規模などを考慮して世界各国の株式市場に分散して投資を行なうことで、時価総額ベースで世界の大半をカバーする運用

当ファンドは、株価指数先物取引やETFなどを活用し、世界の株式市場の大半を網羅*する運用を行なうことから、「地球コンプリート」と、ファンド名の一部に加えました。また、世界経済は常に進化を続けていることから、投資環境など時代の変化にあわせて投資対象国の拡大をめざす「地球コンプリート」運用を行ないます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

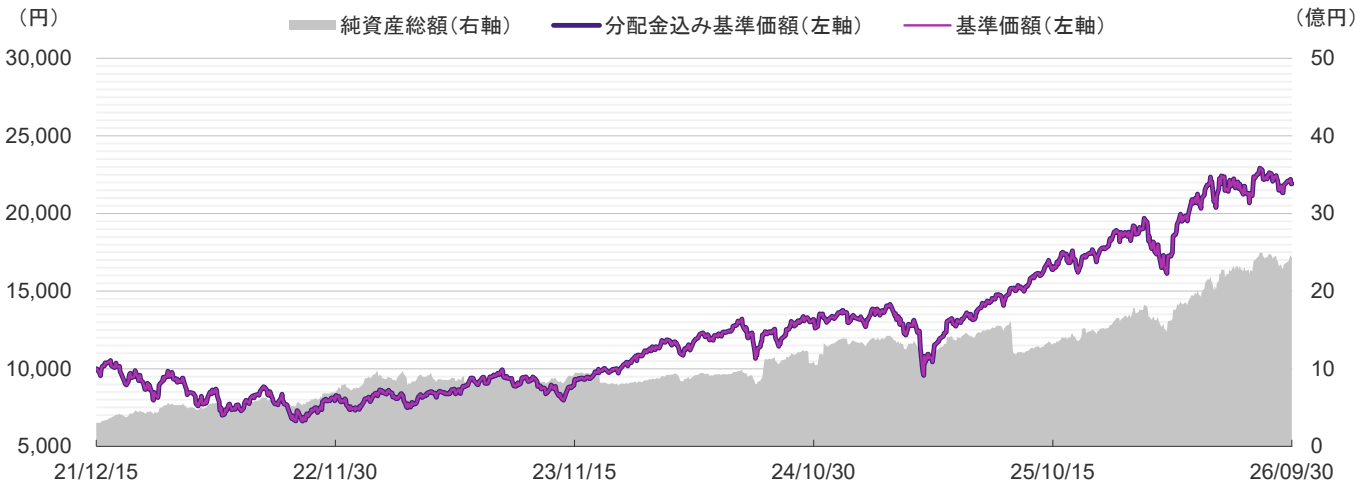
Tracers グローバル2倍株（地球コンプリート）

設　定　日：	2021年12月15日	償　還　日：	無期限	決　算　日：	原則、毎年11月16日
収 益 分 配：	決算日毎	基 準 価 額：	21,904 円	純 資 産 総 額：	24.42億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

基準価額の推移



※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

基準価額の騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-2.97%	0.63%	35.77%	35.23%	149.93%	119.04%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配金実績（税引前）

22･11･16	23･11･16	24･11･18	25･11･17
0円	0円	0円	0円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

資産構成比率

資　産	比率
世界株式ETF	51.7%
世界株式先物	149.2%
世界株式合計	200.9%
現金その他	48.3%

※比率は当ファンドの純資産総額比です。
※先物取引にかかる証拠金は「現金その他」に含まれます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位10銘柄（銘柄数 9銘柄）

	投資対象	名称	投資国／地域	比率
1	先物	米国株先物ミニ（S&P500）	米国	64.8%
2	先物	新興国株先物ミニ（MSCI EM）	新興国	37.9%
3	ETF	VANGUARD TOTAL STOCK MKT-ETF	米国	28.5%
4	先物	欧州株先物（ユーロ・ストックス50）	欧州	23.1%
5	ETF	上場インデックスＴＯＰＩＸ	日本	16.8%
6	先物	英国株先物（FT100）	英国	10.0%
7	先物	カナダ株先物（S&Pトロント60）	カナダ	9.5%
8	ETF	VANGUARD RUSSELL 2000-ETF	米国	6.4%
9	先物	オーストラリア株先物（SPI200）	オーストラリア	3.9%
10				

※比率は当ファンドの純資産総額比です。

投資国／地域別 組入上位10

	投資国／地域	比率
1	米国	99.7%
2	新興国	37.9%
3	欧州	23.1%
4	日本	16.8%
5	英国	10.0%
6	カナダ	9.5%
7	オーストラリア	3.9%
8		
9		
10		

※当ファンドの主要投資対象である上場投資信託証券および株価指数
先物取引などの組入比率をもとに計算した純資産総額比です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。
したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

9月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比1.15%の下落、日経平均株価が同0.67%の上昇となりました。日銀の利上げペースが加速するとの見方が広がり、利ざやが拡大することで収益が見込める銀行株や、ハイテク投資の拡大を通じた成長期待から情報・通信株の上昇などが株価の支援材料となった一方、中東での戦闘の終結が見通せずインフレの長期化懸念と財政を巡る不安などから長期金利の上昇が加速し、株式の相対的な割高感が意識されたことなどが重しとなり、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。

東証33業種分類では、石油・石炭製品、情報・通信業、銀行業の7業種が上昇する一方、鉱業、その他製品、水産・農林業などの26業種が下落しました。

米国株式市場は、前月末と比べて下落しました。米国の小売売上高速報値、製造業・サービス業購買担当者景気指数（PMI）速報値が市場予想を上回ったことや、ハイテク投資の拡大を通じた成長期待が支えとなり、株価が上昇する場面があったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを実施したことや、中東での戦闘の終結が見通せないなか、インフレの長期化や米国財政赤字の拡大、FRBによる追加利上げへの警戒感から米国長期金利の上昇が加速し、株式の相対的な割高感が意識されたことから、株価は下落しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて概して下落しました。ユーロ圏およびドイツのサービス業購買担当者景気指数（PMI）速報値、ドイツのIFO企業景況感指数が市場予想を上回り欧州景気の底堅さを示したことが株価の支援材料となったものの、欧州中央銀行（ECB）や米国連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを実施したこと、中東での戦闘の終結が見通せずインフレの長期化やECBの追加利上げへの警戒感に加え、フランスなどの国で財政を巡る不安から世界的に金利上昇が加速し、株式の相対的な割高感が意識されたことなどから、株価は概して下落しました。

2026年9月のオーストラリア株式市場は下落しました。インフレ懸念などを背景に債券利回りが上昇したほか、消費者マインドの低迷や主要国株式市場の下落が重しとなりました。セクター別では、情報技術セクターや素材セクターなどが低迷しましたが、ヘルスケアセクター、金融セクター、エネルギーセクターなどが相対的に値を保ちました。

オーストラリア準備銀行（RBA）は、9月に政策金利を0.25%引き上げ4.60%としました。インフレ圧力が想定以上に長期化する可能性を指摘する一方、今後は「慎重な引き締め」を検討する姿勢を示しました。

新興国株式市場は、前月末と比べて概して下落しました。米国と中国の首脳会談を巡る両国関係の改善や通商合意の発表が好感されたこと、ハイテク投資の拡大を通じた成長期待などを受けて、新興国株式市場への投資家心理が一時的に上向いたものの、中東での戦闘の終結が見通せず世界的なインフレ長期化懸念から米国連邦準備制度理事会（FRB）の政策金利見通しが上方修正されたことや、中国の主要な経済指標から内需の減速懸念が強まったことなどが重しとなり、新興国株式市場は概して下落しました。

為替市場で円は、新興国通貨に対して総じて上昇しました。

◎運用概況

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式への投資において、純資産総額の2倍相当額の投資を行ないました。日本を含む世界各国の上場投資信託証券および株価指数先物を投資対象資産とし分散投資を行ないました。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1 世界の株式に投資を行ない、収益の獲得をめざします。

■マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界（新興国を含む）の株式に実質的に投資*を行ないます。

＊主にETF（上場投資信託証券）や株価指数先物取引に係る権利などを通じて投資を行ないます。また、現物株式などに投資する場合もあります。

2 株価指数先物取引を積極的に活用し、信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行ないます。

■株価指数先物取引の買建総額と現物資産の組入総額との合計額が、信託財産の純資産総額の2倍相当額となるように投資を行ないます。

3 購入時手数料はかかりません。

世界各国の株式へ分散して投資を行なうにあたり、株価指数先物取引の活用によって純資産総額の2倍相当額の投資を行なう運用手法を「グローバル2倍株」としています。

基準価額変動リスクの大きいファンドですので、ご投資の際には慎重にご判断ください。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2021年12月15日設定）
決算日	毎年11月16日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日が下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日 ・シカゴ商業取引所の休業日 ・ユーレックスにおけるすべてのデリバティブ取引に共通の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.1991%（税抜0.181%） ※この他に、投資対象とする上場投資信託証券には運用などに係る費用がかかりますが、投資する上場投資信託証券の銘柄は固定されていないため、事前に料率、上限額などを表示することができません。
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.amova-am.com 〔コールセンター〕0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

〇リスク情報

・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
・当ファンドは、主に上場投資信託証券、株式および株価指数先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、上場投資信託証券、株式および株価指数先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

［価格変動リスク］

・上場投資信託証券の価格は、連動目標とする資産価格および当該資産が関係する市況や市況の変化などの要因により価格が変動するリスクがあります。上記事項に関する変動があった場合、ファンドに損失が生じるリスクがあります。
・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
・株価指数先物取引にかかる権利の価格は、株価指数の計算根拠となる対象企業の株価や、株価指数を構成する株式市場の値動きに影響を受けて変動します。また、国内および海外の他の株価指数の値動きに連動して変動することもあります。ファンドにおいては、株価指数に関係する株式および株価指数を構成する株式市場の値動きに予想外の変動があった場合、株価指数先物取引にかかる権利の価格にも予想外の変動が生じる可能性があり、重大な損失が生じるリスクがあります。
・新興国の株式および株価指数先物取引にかかる権利は、先進国の株式および株価指数先物取引にかかる権利に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

［流動性リスク］

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券および株価指数先物取引にかかる権利の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
・新興国の株式および株価指数先物取引にかかる権利は、先進国の株式および株価指数先物取引にかかる権利に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

［信用リスク］

・上場投資信託証券について、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があり、廃止される恐れが生じた場合や廃止となる場合も上場投資信託証券の価格は下がり、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあります。
・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

［為替変動リスク］

・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
・一部の資産において、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴なうヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。
・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。
したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

[カントリー・リスク]
・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

[デリバティブリスク]
・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。

[レバレッジリスク]
・株価指数先物取引などを積極的に用いてレバレッジ取引を行ないます。したがって、株式の影響を大きく受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

〇その他の留意点
・当資料は、投資者の皆様に「Tracers グローバル2倍株（地球コンプリート）」へのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は　アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

販売会社

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

※下記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社ＳＢＩ証券 ※右の他に、以下にも加入 一般社団法人日本ＳＴＯ協会 一般社団法人日本暗号資産等取引業協会 日本商品先物取引協会	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社ＳＢＩ新生銀行 （委託金融商品取引業者　株式会社ＳＢＩ証券） （委託金融商品取引業者　マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
ＧＭＯクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	
ＰａｙＰａｙ銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱ＵＦＪ　ｅスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
ｍｏｏｍｏｏ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3335号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。
したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。
当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。